**環境ビジネスに関する産学連携についてのアンケート調査**

**～中部地域における環境技術の高度化と事業化～**

平成26年9月

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　経済産業省中部経済産業局環境・リサイクル課

公益財団法人国際環境技術移転センター

**◆ご協力のお願いについて**

　中部経済産業局では、中部地域における産業公害防止技術等の環境ビジネスに取り組む企業を対象に、国内外におけるビジネス拡大を総合的に支援する調査事業を平成24年度より展開しており、その実施を公益財団法人国際環境技術移転センター（三重県四日市市）に委託しております。

　中部経済産業局が中心となって実施している包括的な支援活動の一環で、環境産業における製品・サービスの高付加価値化を促進すべく、産学連携による環境技術の研究開発・技術高度化を目指しております。すでに、地域の企業や研究機関等で構成される研究会が立ち上げられ、その下でプラズマ、セラミックスの２分野を取り上げております。

こうした活動をさらに促進するため、この度、環境保全のための技術や材料等を研究・開発しておられる中部地域の大学等研究室のシーズ情報を広く収集し、同地域の企業群との更なる産学連携の端緒を探るためのアンケート調査を実施する運びとなりました。

　この目的のため、各大学のホームページ等から貴研究室の情報を抽出し、ご連絡させていただきました。

　環境研究分野の内容、産学連携の取組み状況や今後のご意向等についての下記のアンケート調査にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本件は統計処理して集計結果のみを使用しますので、個別情報は一切特定されません。また、情報保護の観点から厳重に管理し、本調査の目的以外に使用することはございません。

**◆回答方法**

本アンケート調査票の回答欄に直接ご記入いただくか、下記に記したホームページからダウンロードの上ご記入いただき、**９月３０日（火）**までに、以下のいずれかの方法でご回答ください。

調査票データのダウンロード（Microsoft Word版及びAdobe PDF版）はこちらから：http://www.icett.or.jp/chousa/chousa/h26/h26\_sangakurenkeiq.html

１．郵送：

同封の返信用封筒に封入の上、郵便ポストへご投函ください（切手は不要）。

２．ＦＡＸ：

FAX（059-329-8115）まで、ご送付ください。

３．E-mail：

　　　HPから調査票をダウンロードの上、E-mail添付にてご回答ください。

E-mail宛先：[nagai@icett.or.jp](mailto:nagai@icett.or.jp)（永井）

**【返信及びお問い合わせ先】**

公益財団法人国際環境技術移転センター（略称「ICETT（アイセット）」）

（担当：永井真紀、黒田直子、中丸寛仁）

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684番地の11

TEL：059-329-3500　FAX：059-329-8115

E-mail：[nagai@icett.or.jp](mailto:nagai@icett.or.jp)（永井）

**【本調査の趣旨に関するお問い合わせ】**

経済産業省 中部経済産業局 （担当：資源エネルギー環境部 環境・リサイクル課）

〒460-8510 愛知県名古屋市中区三の丸2丁目5番2号

TEL：052-951-2768　FAX：052-951-2568

なお、中部経済産業局では中部地域の環境ビジネスに取り組む企業を紹介したデータベースを作成しており、これらの掲載企業を当面の連携対象と考えております。下記のサイトより閲覧・ダウンロードが出来ます。

<http://www.chubu.meti.go.jp/kankyo/kankyo_business.htm#chi_data>

**アンケート調査票**

**◆はじめに、貴職についてお聞かせ下さい。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究室名 | 大学  大学院大学  工業高等専門学校 | | | | 学部  領域  センター | |
| 学科 | | | | 研究室 | |
| ご役職 |  | お名前 | | |  | |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ | @ | | | | | |
| お電話番号 | （　　　）　　　― | FAX番号 | | | | （　　　）　　　　― |
| ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ |  | | | | | |
| 海外もご研究のフィールドに含まれますか。 | | | 含まれる　　　　　含まれない | | | |
| 海外のフィールド | 【国名】（併記可） | | |
| 【（国を特定しない場合）地域名】 | | |

**I 貴職のご研究内容と産学連携のご意向をおたずねします。**

**貴職のご研究の中で、特にPRしたい技術３つについてお伺いします。**

**Q1.　一つめの技術（以下、「技術１」）について教えてください。**

**Q1-1. 「技術１」のタイトルを教えてください。（1行程度にて）**

|  |
| --- |
|  |

**Q1-2. 「技術１」がどのような技術か、簡潔に教えてください。**

|  |
| --- |
|  |

**Q1-3. 「技術１」の主な特徴を３つまで教えてください。（それぞれ1～２行程度にて）**

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |

**Q1-4.　「技術１」はどのような環境保全・対策に活用できると想定されますか。想定される活用方法や用途、適応可能な業界等を３つまで教えてください。また、「技術１」と他の技術等を合わせて一つの製品、サービスとする技術のパッケージ化のアイデアがあれば教えてください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 想定される活用方法や用途、適応可能な業界等 | （もしあれば）他の技術等との  パッケージ化のアイデア |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**Q1-5. 「技術１」は現在、どのような研究段階にありますか。（以下のいずれかの記号に○印をつけてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 基礎研究段階 2. 実用化着手段階 3. 実証研究段階 4. 開発研究段階（a、b、cなどを経て材料、装置、製品、システム、工程等の導入を目的とする研究） |

**Q1-6. 「技術１」について、環境保全・対策に資する技術としての開発やビジネスのため、企業との新たな連携をお考えですか。（以下のいずれかの記号に○印をつけてください。）**

|  |
| --- |
| a. 積極的に連携したい  b. 機会があれば連携したい  「技術１」に関連する質問は終わりです。  Q2の「技術２」に進んでください。  c. 当面考えていない |

**Q1-7. 「技術１」について、Q1-6.で「a. 積極的に連携したい」あるいは「b. 機会があれば連携したい」とご回答いただいた場合、今後、どのような企業と連携したいですか。**

|  |
| --- |
| 【連携企業の業種】（差し支えなければ企業名もご教示ください。） |
| 【連携企業に求める技術・技術能力】 |
| 【連携企業に求める条件】 |

**Q1-8. 「技術１」の実用化にあたって、克服すべき課題が把握されている場合、それはどのような課題ですか。**

|  |
| --- |
|  |

「技術１」についての質問は以上です。次ページの「技術２」についてご回答ください**。**

**Q2.　二つめの技術（以下、「技術２」）について教えてください。**

**Q2-1. 「技術２」のタイトルを教えてください。（1行程度にて）**

|  |
| --- |
|  |

**Q2-2. 「技術２」がどのような技術か、簡潔に教えてください。**

|  |
| --- |
|  |

**Q2-3. 「技術２」の主な特徴を３つまで教えてください。（それぞれ1～２行程度にて）**

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |

**Q2-4.　「技術２」はどのような環境保全・対策に活用できると想定されますか。想定される活用方法や用途、適応可能な業界等を３つまで教えてください。また、「技術２」と他の技術等を合わせて一つの製品、サービスとする技術のパッケージ化のアイデアがあれば教えてください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 想定される活用方法や用途、適応可能な業界等 | （もしあれば）他の技術等との  パッケージ化のアイデア |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**Q2-5. 「技術２」は現在、どのような研究段階にありますか。（以下のいずれかの記号に○印をつけてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 基礎研究段階 2. 実用化着手段階 3. 実証研究段階 4. 開発研究段階（a、b、cなどを経て材料、装置、製品、システム、工程等の導入を目的とする研究） |

**Q2-6. 「技術２」について、環境保全・対策に資する技術としての開発やビジネスのため、企業との新たな連携をお考えですか。（以下のいずれかの記号に○印をつけてください。）**

|  |
| --- |
| a. 積極的に連携したい  b. 機会があれば連携したい  「技術２」に関連する質問は終わりです。  Q3の「技術３」に進んでください。  c. 当面考えていない |

**Q2-7. 「技術２」について、Q2-6.で「a. 積極的に連携したい」あるいは「b. 機会があれば連携したい」とご回答いただいた場合、今後、どのような企業と連携したいですか。**

|  |
| --- |
| 【連携企業の業種】（差し支えなければ企業名もご教示ください。） |
| 【連携企業に求める技術・技術能力】 |
| 【連携企業に求める条件】 |

**Q2-8. 「技術２」の実用化にあたって、克服すべき課題が把握されている場合、それはどのような課題ですか。**

|  |
| --- |
|  |

「技術２」についての質問は以上です。次ページの「技術３」についてご回答ください**。**

**Q3.　三つめの技術（以下、「技術３」）について教えてください。**

**Q3-1. 「技術３」のタイトルを教えてください。（1行程度にて）**

|  |
| --- |
|  |

**Q3-2. 「技術３」がどのような技術か、簡潔に教えてください。**

|  |
| --- |
|  |

**Q3-3. 「技術３」の主な特徴を３つまで教えてください。（それぞれ1～２行程度にて）**

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |

**Q3-4.　「技術３」はどのような環境保全・対策に活用できると想定されますか。想定される活用方法や用途、適応可能な業界等を３つまで教えてください。また、「技術３」と他の技術等を合わせて一つの製品、サービスとする技術のパッケージ化のアイデアがあれば教えてください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 想定される活用方法や用途、適応可能な業界等 | （もしあれば）他の技術等との  パッケージ化のアイデア |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**Q3-5. 「技術３」は現在、どのような研究段階にありますか。（以下のいずれかの記号に○印をつけてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 基礎研究段階 2. 実用化着手段階 3. 実証研究段階 4. 開発研究段階（a、b、cなどを経て材料、装置、製品、システム、工程等の導入を目的とする研究） |

**Q3-6. 「技術３」について、環境保全・対策に資する技術としての開発やビジネスのため、企業との新たな連携をお考えですか。（以下のいずれかの記号に○印をつけてください。）**

|  |
| --- |
| a. 積極的に連携したい  b. 機会があれば連携したい  「技術３」に関連する質問は終わりです。  Ⅱに進んでください。  c. 当面考えていない |

**Q3-7. 「技術３」について、Q3-6.で「a. 積極的に連携したい」あるいは「b. 機会があれば連携したい」とご回答いただいた場合、今後、どのような企業と連携したいですか。**

|  |
| --- |
| 【連携企業の業種】（差し支えなければ企業名もご教示ください。） |
| 【連携企業に求める技術・技術能力】 |
| 【連携企業に求める条件】 |

**Q3-8. 「技術３」の実用化にあたって、克服すべき課題が把握されている場合、それはどのような課題ですか。**

|  |
| --- |
|  |

「技術３」についての質問は以上です。

**Ⅱ　貴職の産学連携への取り組みについてお伺いします。**

**Q4. 産学連携にあたり、連携する企業へは日頃どのようにアプローチしていますか。（以下のあてはまる記号すべてに○印をつけてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 学会や研究会での出会い、交流、マッチング 2. 自身でホームページや業界紙等から探す 3. 大学の産学連携や社会連携を目的としたセンター等から紹介を受ける 4. 県や市などの公的機関、あるいは公的な支援機関からの紹介を受ける 5. その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） 6. 連携は特にしていない |

**Q5. セミナーやマッチング会、あるいは研究会においてシーズ提供のご協力いただけますか。（以下のいずれかの記号に○印をつけて下さい。）**

|  |
| --- |
| 1. 積極的に協力したい 2. 機会があればなるべく協力したい 3. 参加企業名やテーマを勘案して都度検討したい 4. 当面考えてない |

**Q5-1. シーズ提供に伴い、運営者側に留意してほしい事項や条件などがございましたらお聞かせ下さい。**

|  |
| --- |
|  |

**Q6. 一方、これまで既に連携を行っては来たものの、連携が円滑にいかなかったり限界を感じたり、新たな連携を結びたくても結べない状態になっている場合などもあるかと存じます。  
　そのような状況について、差し支えなければお知らせ下さい。また、その際に欲しい支援や情報をお聞かせ下さい。**

|  |
| --- |
| 【連携がうまく行かなくなっている状況】 |
| 【上記のような状況下で、欲しい支援や情報】 |

**Ⅲ　お知らせとお願い**

　中部地域の環境ビジネス支援のためのメールマガジンを公益財団法人国際環境技術移転セン

ターより配信しております(発行頻度：月1回程度)。貴研究室のご登録をお待ちしております。

　お手続きは右のサイトよりお願いいたします　<http://www.icett.or.jp/moushikomi/merumaga1.html>

　以上でアンケートは終了です。ご多忙のところご協力をいただき、誠にありがとうございました。

お手数ですが９月３０日(火)までに、ご返信願います。